

諮問第 204 号

兵庫県職業能力開発審議会

兵庫県職業能力開発計画について（諮問）

本県の景気は緩やかな回復基調にあり、個人消費や雇用情勢においても物価上昇等の影響を受けつつも緩やかに回復していますが、物価上昇や実質賃金の減少に加え、米国の通商政策や金融資本市場の変動等の影響も懸念され、労働者を取り巻く環境は厳しさを増しています。そのような中で、県民一人ひとりの可能性を広げ、誰もが希望を持って働くことができる社会の実現が求められています。

少子高齢化が進み、労働供給制約という課題を抱える現状において、労働生産性の向上は必須であり、加速する AI 等のデジタル技術に対応できる人材の育成等に加え、多様な働き方の変化に対応した職業能力開発施策の推進が求められます。

さらに、国、県、企業、団体、教育訓練機関等の関係機関が連携し、成長分野に必要な人材育成と労働者のキャリア形成を一体的に推進することが重要であり、これらの取組を通じ、成長型経済への移行を確実にし、躍動する兵庫の実現を目指します。

以上を踏まえ、第 12 次兵庫県職業能力開発計画の策定にあたり、意見を求めます。

令和 8 年 2 月 10 日

兵庫県知事 齋藤元彦